

(第2号様式)

北谷第 2310 号
令和8年3月12日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北谷高等学校
校長 大城 寿賀子
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月29日	場所	北谷高校 大会議室	出席 状況	学校評議員4名(全員) 学校側9名(1名委任)の計13名
第2回	日時	令和7年12月24日	場所	北谷高校 大会議室	出席 状況	学校評議員4名(全員) 学校側9名(1名委任)の計13名
第3回	日時	令和8年2月26日	場所	北谷高校 大会議室	出席 状況	学校評議員3名(1名委任) 学校側10名の計13名

2 学校評議員に求めた事項

学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していく。

- (1)学校の教育目標や運営方針についての意見。
- (2)授業・学力向上・進路指導など教育活動への助言。
- (3)生徒指導や学校生活の改善に関する意見。
- (4)地域との連携や開かれた学校づくりへの提案。
- (5)学校評価や学校運営の改善についての助言。

3 学校評議員の意見

- (1)生徒の学力向上や授業の工夫・改善を進めて欲しい。
- (2)教師の授業力向上に向けての研修・研究により一層、取り組んで頂きたい。
- (3)基本的な生活習慣やマナーの指導を大切にして欲しい。
- (4)地域との連携を深め、地域活動への参加を増やして欲しい。
- (5)進路指導を充実させ、生徒の将来に役立つ教育を行って欲しい。
- (6)学校の情報を地域や保護者へ積極的に発信して欲しい。
- (7)キャリア教育の充実や生徒たちが未来設計等のできる取り組みを進めて欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- (1)授業改善や学力向上のための取組を強化した。
- (2)生徒の生活指導やマナー指導を充実させた。
- (3)地域との交流活動や連携を推進した。
- (4)進路指導やキャリア教育を充実させた。
- (5)学校の情報発信や保護者・地域との連携を強化した。

5 課題その他

- (1)教育の不易と流行(校則等)を学校(先生)も確認する必要がある。
- (2)授業参観等の時間を設け、実際の生徒の様子を目にしたい。
- (3)入試における定員の確保をどのように解決するか。
- (4)学校の活性、「いける学校」から「いきたい学校」を全職員あげて取り組む体制づくり。